

第2章 平成26年度事業実績

第 1 総務企画部

1 総務企画課

(1) 地域保健医療福祉の総合的な推進

1 厚生統計関係調査事業

国の厚生統計施策の基礎資料を得るとともに、保健・医療・福祉分野の施策を効果的・効率的に推進するため、各種統計調査を実施しました。

(1) 保健衛生統計調査

- ア 人口動態調査（毎月）
- イ 医療施設動態調査（毎月）
- ウ 病院報告（患者票：毎月、従事者票：10月）
- エ 衛生行政報告例（年度報：5月）
- オ 地域保健・健康増進報告（年度報：6月）

(2) 社会福祉統計調査

福祉行政報告例（月報、年度報）

(3) 公衆衛生資料等の整備

人口動態調査等の統計データを収集し、「図表で見る福島県相双地域の保健・医療・福祉の動向」を作成しました。

2 地域保健医療福祉推進事業

地域における保健・医療・福祉の連携を強化し、地域の実態に即した保健医療福祉施策を推進するため、関係各部門の委員からなる相双地域保健医療福祉協議会を開催しました。

開催日：平成 26 年 10 月 21 日

開催場所：合同庁舎内 401 会議室

議 事：(1) 会長、副会長の選出について

(2) 福島県相双地域保健医療福祉推進計画の進行状況について
(保健医療福祉人材の確保等)

■相双地域保健医療福祉協議会委員名簿（平成 26 年度）

No	区 分	関 係 機 関 (役 職 名)	氏 名
1	医療①	相馬郡医師会長	樋 口 利 行
2	②	双葉郡医師会長	堀 川 章 仁
3	③	双葉郡歯科医師会長	宮 嶋 清 憲
4	④	相馬薬剤師会長	佐 藤 悟
5	⑤	福島県看護協会相双支部長	堀 内 由 美
6	⑥	南相馬市立総合病院長	金 澤 幸 夫

7	保健①	相双地区食生活改善推進協議会長	渡 辺 純 子
8	②	相馬市保健センター所長	佐 藤 吉 典
9	③	南相馬市健康づくり課長	高 玉 利 一
10	④	広野町町民保健課長	青 木 寿 之
11	福祉①	相双地区特別養護老人ホーム連絡協議会長	三 瓶 政 美
12	②	よつば保育園長	近 藤 真 紀 子
13	③	福島県精神保健福祉協会相双支部長	熊 倉 徹 雄
14	④	南相馬市社会福祉協議会長	門 馬 秀 夫
15	一般 ①	NPO法人ほっと悠理事長	村 田 純 子
16	行政①	相馬地方広域市町村圏組合事務局長	菊 池 邦 啓
17	②	双葉地方広域市町村圏組合事務局長	吉 田 信 也
18	③	県相双地方振興局長	石 本 健
19	④	県相双教育事務所長	塩 田 正 信
20	⑤	県浜児童相談所長	市 川 英 雄

3 地域医療総合確保基金事業

団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据え、医療介護総合確保促進法に基づく福島県計画や地域における在宅医療の在り方等について協議するため、相双地域在宅医療推進会議を開催しました。

開催日：平成27年2月26日

開催場所：南相馬市市民情報交流センター大会議室

議 事：(1) 医療介護総合確保推進法による福島県計画の策定スキームについて
(2) 「地域医療介護総合確保基金」充当事業について
(3) 「地域包括ケアシステム構築支援事業」について
(4) 相双地域における在宅医療の現状と課題について

4 福祉避難所の指定促進事業【全庁重点】

市町村における福祉避難所の指定を促進するため、市町村や関係団体等を対象とした、福祉避難所の必要性、指定方法、運営方法等に関する研修会に参画（本庁保健福祉総務課主催）するとともに、未指定市町村への技術的助言を行いました。

(1) 福祉避難所の運営に関する研修会（本庁保健福祉総務課主催）

開催日：平成26年9月8日

開催場所：ビッグパレットふくしま（郡山市）

(2) 福祉避難所指定に係る市町村等との打ち合わせ（本庁保健福祉総務課に同行）

訪問数：1市（11月）

※ 福祉避難所指定済管内市町村数：7市町村（46施設）H27.3.31現在

5 出前講座【創意事業】

保健・衛生・福祉に関する正しい知識の普及啓発を図るため、地域住民、企業、学校等の希望に応じて、当所職員を講師として派遣する「出前講座」を実施しました。

■ 出前講座実績

	分野	講座名	内容	対象者	担当課	開催実績 (回数)
1	健康	たばこに関する健康講座	たばこの健康影響や受動喫煙の防止等についてお話しします。	一般住民 小中学生 事業所	健康増進課	1
2	健康	こころの健康講座	「こころ」の健康の大切さをわかりやすくお話しします。	事業所等	保健福祉課	1
3	医療	薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」	乱用されている薬物の心身への影響や薬物に関する正しい知識についてお話しします。	小中高生 専門学校生 一般住民	医療薬事課	10
4	感染症	感染症予防講座	インフルエンザ、感染性胃腸炎及び性感染症などについて、症状から予防策までわかりやすくお話しします。	一般住民 事業所	医療薬事課	4
5	衛生	食品衛生教室	食中毒の原因からその予防まで、食品衛生のルールを知ろう！	一般住民 事業所	衛生推進課	1
合計						17

(2) 人材の育成

1 地域保健福祉関係職員研修事業

適切な行政サービスを提供できるようにするため、地域保健福祉関係職員の資質の向上を図りました。

(1) 福島県地域保健福祉職員新任研修のフォローアップ研修

本庁保健福祉総務課主催の新任研修を受講した管内・いわき市の職員を対象としたフォローアップ研修を開催しました。

ア 相双管内

開催日：平成26年12月8日

開催場所：相双保健福祉事務所 大会議室

参加者：13人（南相馬市・川内村・相双保健福祉事務所職員）

内容：講義・演習、事例検討

「相談者との効果的な話の聴き方・伝え方」

イ いわき市

開催日：平成26年11月20日

開催場所：いわき市総合保健福祉センター 3階健康学習室

参加者：11人（広野町・双葉町・いわき市・相双保健福祉事務所いわき出張所）

内容：講義・演習、事例検討

「円滑なコミュニケーションを目指して」

(2) 保健医療福祉関係実習生の指導

保健・医療・福祉従事者養成機関の要請に応じて、当該学生に対する教育指導を行いました。

■実習生指導実績

養成機関	実習人員 (人)	実習延日数 (日)	実習期間
福島県立医科大学 看護学部4年生	3	1	5/15
2年生	7	9	10/27～10/31 11/4～11/7
仙台白百合女子大学	1	5	9/1～9/5
相馬看護専門学校	39	1	11/17
計	50	16	

(3) 医師臨床研修生の受入

養成機関	実習人員	実習延日数	実習期間
獨協医科大学	1	4	10/14～10/17

(4) 保健師現任教育の実施

福島県現任教育指針及びプログラムに基づき、組織全体で現任教育を支える環境を構築しました。

ア プリセプター所内会議

年3回（平成26年6月9日、1月7日、平成27年3月11日）

イ 研修会の開催

年5回（平成26年7月15日、9月12日、11月13日、12月4日、平成27年2月20日）

※ 平成26年7月15日開催分は、地域保健福祉活動推進研修事業として実施

2 地域保健福祉活動推進研修事業【所重点】

効果的な地域保健対策を推進するため、市町村等の職員に対する研修を実施し、関係職員の資質の向上を図りました。

(1) 被災地におけるアルコール問題支援研修会の開催

開催日：平成26年7月29日

開催場所：福島県南相馬合同庁舎 401 会議室

参加者：35人

内容：講義「アルコール問題への支援方法について」

全体討議「アルコール問題への支援で困っていること」

(2) 新任保健師研修会

開催日：平成26年7月15日

開催場所：県北保健福祉事務所 会議室

参加者：23人

内容：講義「現任教育の必要性と実施体制」

全体討議「現任教育をする上での課題」

講義・事例検討「事例検討の意義と進め方」

交流会・情報交換会

3 地域医療体験研修事業【所重点】

将来の地域医療の担い手を育成するため、地域医療に関心のある医学部生を対象にへき地診療所等の地域医療の現場視察や地域住民との交流などの体験の場を提供しました。(年2回実施)

■体験研修開催実績

実施日	概要	参加者数
(夏期) H26. 8. 27～29	①地域医療の現場の視察 高野病院、渡辺病院 ②医療従事者等との懇談 広野町役場、高野病院 ③被災地の視察及び地域住民との交流 広野町役場 南相馬市沿岸部（小高区・鹿島区）、 東北電力原町火力発電所 南相馬市社会福祉協議会仮設サロン ④課題研究・発表	8名
(冬期) H27. 3. 3～4	①地域医療の現場の視察 絆診療所、南相馬市立総合病院 ②臨床研修医との懇談 南相馬市立総合病院 ③地域の精神保健活動の視察 心のケアセンターなごみ ④食の安全・安心の取組の視察 成田食品株式会社 ⑤津波被災地及び地域の歴史と文化の視察 相馬市沿岸部（相馬港湾建設事務所） 南相馬市博物館 ⑥課題研究・発表	8名

(3) 民間団体への支援

1 民生委員及び児童委員諸活動支援事業

民間奉仕者である民生委員及び児童委員の活動の支援を通して、社会福祉の増進を図るため、民生委員及び児童委員の選任手続や民生委員協議会への負担金の交付等を行いました。

- (1) 民生委員に対する報償費
対象者数：510人
- (2) 児童委員に対する報償費
対象者数：510人
- (3) 民生委員協議会に対する負担金
対象協議会数：26件

■ 民生・児童委員の状況（平成27年4月1日現在）

市町村名	定数 (うち主任 児童委員)	現数 (うち主任 児童委員)	性別		民生委員協議会			
			男	女	名称	会長	事務局（電話番号）	
広野町	15 (2)	15 (2)	7	8	広野町民生委員協議会	佐藤 功	広野町 (町民課)	0240-47-2115
檜葉町	22 (2)	22 (2)	3	19	檜葉町民生児童委員協議会	松本 宏美	檜葉町社会 福祉協議会	(仮事務所) 0242-55-0177
富岡町	34 (2)	33 (2)	14	19	富岡町民生委員協議会	三瓶 俊彦	富岡町社会 福祉協議会	(仮事務所) 024-935-3345
川内村	14 (2)	13 (2)	5	8	川内村民生委員協議会	遠藤 敏子	川内村社会 福祉協議会	0240-38-3802
大熊町	27 (2)	25 (2)	6	20	大熊町民生児童委員協議会	根本 友子	大熊町社会 福祉協議会	(仮事務所) 0242-29-5760
双葉町	21 (2)	19 (2)	5	14	双葉町民生児童委員協議会	羽根田 信	双葉町社会 福祉協議会	(仮事務所) 0480-70-0057
浪江町	59 (3)	59 (3)	17	42	浪江町民生委員協議会	田村 友正	浪江町社会 福祉協議会	(仮事務所) 0243-62-0877
葛尾村	10 (2)	10 (2)	5	5	葛尾村民生児童委員協議会	東海林 憲 一	葛尾村社会 福祉協議会	(仮事務所) 0247-62-8687
新地町	26 (2)	26 (2)	6	20	新地町民生児童委員協議会	佐々木 敏 則	新地町社会 福祉協議会	0244-62-4213
飯舘村	30 (2)	29 (2)	12	17	飯舘村民生児童委員協議会	松原 光年	飯舘村社会 福祉協議会	(仮事務所) 024-562-3622
郡部計	258 (21)	251 (21)	80	172	10民協	—	—	—

市部名	定数 (うち主任児童委員)	現数 (うち主任児童委員)	性別		民生委員協議会			
			男	女	名称	会長	事務局(電話番号)	
相馬市第1方部	21 (2)	21 (2)	8	13	相馬市第1方部民生委員協議会	佐々木 政喜	相馬市 (社会福祉課)	0244-37-2204
相馬市第2方部	12 (2)	11 (2)	4	7	相馬市第2方部民生委員協議会	渡部 晴秀	〃	〃
相馬市第3方部	9 (2)	9 (2)	7	2	相馬市第3方部民生委員協議会	建藤 洋悦	〃	〃
相馬市第4方部	7 (2)	7 (2)	3	4	相馬市第4方部民生委員協議会	熊倉 義男	〃	〃
相馬市第5方部	6 (2)	6 (2)	0	6	相馬市第5方部民生委員協議会	桑折 陽子	〃	〃
相馬市第6方部	8 (2)	8 (2)	2	6	相馬市第6方部民生委員協議会	鈴木 栄治	〃	〃
相馬市第7方部	7 (2)	6 (2)	1	5	相馬市第7方部民生委員協議会	苅宿 司	〃	〃
相馬市第8方部	5 (2)	5 (2)	0	5	相馬市第8方部民生委員協議会	大橋 文子	〃	〃
相馬市第9方部	11 (2)	11 (2)	4	7	相馬市第9方部民生委員協議会	渡邊 昂	〃	〃
相馬市部計	86 (18)	84 (18)	29	55	9民協	—	—	
南相馬市原町区原町方部	47 (3)	45 (2)	13	32	南相馬市原町民生委員児童委員協議会	大島 紀	南相馬市社会福祉協議会	0244-24-3415
南相馬市原町区高平方部	11 (2)	11 (2)	3	8	南相馬市高平民生委員児童委員協議会	渡部 美智子	〃	〃
南相馬市原町区大甕方部	12 (2)	12 (2)	6	6	南相馬市大甕民生委員児童委員協議会	小谷津 安一	〃	〃
南相馬市原町区太田方部	12 (2)	12 (2)	4	8	南相馬市太田民生委員児童委員協議会	只野 信一	〃	〃
南相馬市原町区石神方部	19 (2)	19 (2)	10	9	南相馬市石神民生委員児童委員協議会	酒井 光孝	〃	〃
南相馬市鹿島方部	34 (2)	33 (2)	10	23	南相馬市鹿島民生委員児童委員協議会	前田 重光	〃	〃
南相馬市小高方部	36 (2)	33 (1)	7	26	南相馬市小高民生委員児童委員協議会	林 靖	〃	〃
南相馬市部計	171 (15)	165 (14)	53	112	7民協	—	—	
合計	515 (54)	500 (53)	162	339	26民協	—	—	

(4) 社会福祉法人の認可、法人・施設の適正な運営の確保

1 社会福祉法人指導事務

社会福祉法人・施設の適正な運営を確保するため、社会福祉法に基づく認可等事務を行いました。

変更認可件数：6件

変更届出件数：3件

2 社会福祉法人監督事務

社会福祉事業の健全な経営と公正な運営を確保するため、社会福祉法人に対する指導監査を実施しました。

■社会福祉法人監査の実績

	対象数	実施数	備考
施設経営法人	11	7	新設法人への運営指導1件含む
社会福祉法人 (保育所のみ経営)	2	0	
町村社会福祉協議会	10	4	本庁福祉監査課実施分3法人含む。
合計	22	10	

(5) 生活保護の適正実施

1 行旅死亡人取扱負担金

行旅病人及び行旅死亡人の医療、葬祭等に要した費用について、遺留金品や扶養義務者等により弁償されない場合に、市町村が負担した費用について、必要経費を審査し、実施機関である市町村へ交付しました。

交付件数：3件

※行旅死亡人とは、行き倒れになって死亡し、遺体の引き取り者がいない人のこと。

(6) 援護事業の推進

1 援護業務施行事務

経常的な下記援護業務を行いました。

(1) 全国戦没者追悼式、福島県戦没者追悼式への参列遺族等に関する遺族会との連絡調整

各追悼式へ参列する遺族について、遺族会と連絡調整しました。

(2) 福島県戦没者追悼式への参画

追悼式の会場設営、参列遺族の案内等を行いました。

日時：平成26年11月28日(火)

場所：福島県文化センター(福島市)

(3) 管内の戦没者追悼式への参列

管内の戦没者追悼式へ相双保健福祉事務所長が参列し、献花を行いました。

ア 双葉郡並びに川内村戦没者追悼式及び双葉郡並びに川内村戦没者慰霊祭

日時：平成26年10月23日(木)

場所：川内葬祭センターふるさと

イ 平和を願い戦没者を追悼する市民の式典

日 時：平成 26 年 11 月 7 日(金)

場 所：相馬市総合福祉センター はまなす館

2 戦傷病者特別援護法に基づく援護業務

戦傷病者特別援護法に基づき、戦傷病者乗車券類引換証の交付等に関する事務を行いました。

(1) 引換証の交付

交付件数：16 件

交付枚数：52 枚

(2) 引換証一覧表の整理（四半期毎に報告）